

矢部清流学園

学校だより 9号



善遊善学

学校教育目標 ふるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な体を持ち、共に伸びる児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「総がかりの教育」の推進～

重点目標 自分の思いや考えを仲間とつなぎ、広げていく子どもの育成
～ つなごう・広げよう～

令和4年10月7日 文責 古川 志乃

前期終業式 今学期を振り返って…

広げよう

4月に新年度がスタートして半年が過ぎ、本日、前期終業式を迎えました。それぞれに通知表・あゆみを手にして、今学期を振り返っていることと思います。終業式でも話したように、学期の区切り「節目」はとても大切です。植物の「節目」は成長した証であり、さらなる成長に必要なもの。節があるからこそ、しなやかに（折れることなく）高く高く伸びていくのです。「人生の節目」も同じだと思います。「節目」を作る今だからこそ、自分自身を振り返り、よりよく成長するために、何が必要か、自分の課題は何かをしっかりと見つめ直し、今後の目標を明らかにして10月11日（火）の後期始業式を迎えましょう。

実りの秋！ 新米をいただきました！

THANK YOU

栗原裕典さん、木村清男さんから新米をいただき、給食で提供しています。ふっくらピカピカの新米のおかげで、体育祭の練習に頑張っている子ども達は元気モリモリです！ また、お米を提供していただいたことにより給食費に余裕が出て、デザートを追加することができます。本当にありがとうございました。



つなごう 1・2年生 稲刈り体験学習 10月5日(水)

社会福祉協議会の方々の運営で実施できている「ふれあい田んぼ」づくり。6月15日、ゆいのもり・老人クラブの方々、矢部保育園の園児、そして矢部清流学園の1・2年生で田植えを行っていましたが、管理していただいた堀下幸裕さん家族のおかげで、稲は立派に育ち、黄金の稲穂をつけることができました。

10月5日(水)、前日からの雨が心配されましたが、みんなの思いがお天道様に通じて、予定通りに稲刈りを行うことができました。鎌で稲を刈り、束ねた稲を藁(手でねじる)で縛り、そして、天日干しのために竿にかけ作業を、一生懸命に取り組むことができました。地域のおじいちゃん、おばあちゃんに助けをもらいながら、頑張ることができ、すばらしい体験学習となりました。終了後、1年生はイラスト付きのお礼の手紙、2年生は感想文(ノートに10ページも書いている児童がいました！)を書き、活動を振り返りました。



【感想より】 2年生の感想より抜粋

- ・かまでいねをかるのがおもしろかったです。いねをかるときの音はザクザクして、いい音でした。つぎにいねをおすぶのおしえてもらえました。その人のおかげで、一人でいねをおすぶことができるようになりました。……(略)……いもりやかえるやかにかたくさんいました。ぼくのながぐつの中にかがはいってきたからびっくりしました。【N.G】
- ・いねかりをしました。とてもたのしかったです。足がはまったので、Uさんにたすけてもらいました。……(略)……さいごにおれいの言ばをがんばったので、みんなにほめられました。【H.S】
- ・ながぐつがぬげて足がくつ下だけになりました。たいへんだと思いました。はやくとったしんまいをたべたいです。【H.H】
- ・いねかりの音はピーナッツのかわをむいているみたいでした。【K.U】

